

「UV-B電球形蛍光灯」

UV-B電球形蛍光灯は、紫外線の照射で免疫機能を活性化。うどんこ病などの植物病害発生を抑えます。

check 紫外線（UV-B）の照射で免疫機能を活性化
葉への適度なUV-B照射により、植物の免疫機能を活性化させ、うどんこ病などの発生を抑えます。

check 安心・安全な栽培をサポート
UV-B照射による発病抑制効果分の、農薬使用量を削減可能。散布の手間や人体への影響を抑えられ、同時に安全性の高い減農薬作物を生産できます。

check 取付が簡単、しかも長寿命
電球形蛍光灯と同じコンパクトな形状で、E26口金に取り付けるだけ。UV-B照射効果は約4500時間も持続と長寿命です。



SPWFD24UB2PA



SPWFD24UB2PB



点灯時のイメージです。

UV-Bって何？

太陽の光に含まれる紫外線は波長によってUV-A、UV-B、UV-Cの3つに分類されます。

UV-Bは日焼けの原因となる短波長の光で、イチゴの葉への照射により防御関連遺伝子の発現誘導が確認されています。

※人間の目や皮膚へ悪い影響を与える可能性があるため、ランプの直視や皮膚への照射はおやめください。



うどんこ病抑制

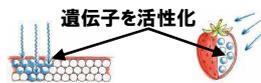
① 紫外線（UV-B）の光を照射



0時～3時までの夜間

1日3時間照射

② 適度な刺激により、免疫機能が活性化



③ 植物病害（うどんこ病）の発生を抑制



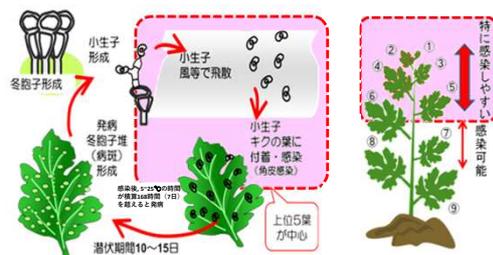
ハダニの増殖抑制



◇ UV-Bがハダニ卵の孵化、発育、産卵を抑制する効果があります。

◇ 反射シートとの組み合わせで、より効果的な撃退が期待できます。

白さび病抑制



◇ 小生子の葉への付着、感染時の菌糸伸長を抑制します。
※母株・育苗圃場で、低UV-B強度で長時間（朝6時終了とし、4～6時間）